

開館時間

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日

毎週月曜日(月曜日が祝・休日の場合はその翌日)

※但し、8/15は臨時開館

年末年始(12月29日から1月3日)

観覧料

企画展・特別展(展覧会によって異なります)

常設展

	個人	団体(20名以上)
一般	210円	160円(1人につき)
高校・大学生	150円	120円

注) ■小学校・中学校・特別支援学校の児童・生徒は、常設展無料、土曜・日曜・祝・休日に限り企画展20%割引

■65歳以上の一般個人の方は、観覧料(常設展・企画展)20%割引

交通のご案内

JR北陸本線高岡駅より

- 徒歩約20分(高岡駅より北東約2km)
- バス、富山行/石瀬行「中川バス停」下車、徒歩2分  
高岡市民病院行「工芸高校前バス停」下車、徒歩1分
- JR氷見線「越中中川駅」下車、徒歩2分

能越自動車道 高岡北IC.から約10分、高岡IC.から約15分  
北陸自動車道 小杉IC.から約20分、砺波IC.から約30分

※高岡市美術館地下駐車場は、2時間まで駐車料金無料

※高岡文化の森駐車場(屋外)は駐車料金無料



〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号

TEL 0766-20-1177 FAX 0766-20-1178

URL <http://www.e-tam.info/>



金属の造形・漆のデザイン

会期/平成23年3月25日(金)～6月24日(金)

高岡の重要な工芸である金工と漆芸の作品を、「ものづくり・デザイン科」を学ぶ市内の小・中学生にも親しみがもてるよう、わかりやすく紹介していきます。

金属に熱を加えて溶かし、冷めないうちに型に流し込んで立体をつくる鑄金、たたくと延びるといった特性をいかして、一枚の金属板から器などをつくる鍛金、金属の表面を鏝という道具で彫り、文字や文様をつける彫金。このような金属の特質をいかした造形と、「冷たい」「かたい」「重い」というその一般的なイメージを覆すような、自由な発想で生み出された作品を紹介します。

一方、美しさと機能を兼ね備えて発展してきた漆芸には、蒔絵、錆絵、螺鈿、彫漆など、塗料としての特性をいかした加飾法が発達してきました。これらはどのような意匠になって、あたらしい生命を得るのでしょうか。その秘密にせまります。



木村天紅「蟹螺鈿飾壺」

※名称、会期等は多少変更になることがあります。

南桂子 — スケッチブックの鳥・木・花

会期/平成23年7月1日(金)～11月6日(日)

企画展に関連して、当館に収蔵される南桂子の素描をテーマ別に紹介します。

鉛筆やインクで描かれたスケッチやドローイングは、銅版画の魅力をますます輝かせてくれるものです。銅版画に頻繁に描かれる「鳥」「木」「花」に「少女」というテーマを加え、作家が最初につめた対象のかたちを約40点でご紹介します。出品作の多くは初めて公開しますので、ぜひご覧ください。



南桂子 スケッチブックより

絵画の場所

～絵はどこにある?～

会期/平成23年11月11日(金)～平成24年3月11日(日)

ふつう美術館では絵画は壁にあるわけですが、近くから観察すると、絵が描かれているのは紙の上だったり、布の上だったりします。それに、花瓶や皿のようなものにも絵は描かれますし、額縁にも絵が描かれていたり、額縁が彫刻のようであったりもします。当館のコレクションを通じて、「絵画のある場所」を観察してみましょう。



菊池容斎「御法話」

PROGRAM OF EXHIBITIONS  
展覧会のごあんない  
2011・4—2012・3

TAKAOKA ART MUSEUM



## 第17回 高岡市民美術展

会期／平成23年4月16日(土)～5月4日(水・祝)

高岡市で創作活動を行う人たちを対象とした公募展。絵画Ⅰ(日本画)、絵画Ⅱ(洋画)、彫刻、工芸、書、写真の6部門の入選・入賞作品、および招待作品をあわせて約500点を展示します。

**【観覧無料】**

## 日本工芸会富山支部50周年記念 第50回 日本伝統工芸富山展

会期／平成23年5月13日(金)～5月29日(日)

本展は、昭和36年に高岡市立美術館で始まり、地域の美術工芸の振興、発展に貢献してきた展覧会です。人間国宝をはじめとする全国の工芸作家の賛助出品と、公募作品を約200点展示します。また、富山支部創立50周年を記念して、「物故会員遺作展」ほか様々なイベントを開催します。

**【小中高生観覧無料】**

## 生誕100年 南桂子展

会期／平成23年6月24日(金)～7月31日(日)

本年は版画家・南桂子の生誕100年にあたります。これを記念して全国巡回展を開催し、南桂子の歩みを振り返ります。南桂子(1911～2004)は高岡市出身で、高岡高等女学校時代から詩作や絵画制作に親しみ、東京では童話を発表、その後は1954年(昭和29)から96年(平成8)までの間、フランスとアメリカで銅版画家として活躍します。少女や木や鳥をモチーフとした透明感のある画面には、詩や童話から抜け出たような純粋な世界が描かれ、世界中の人々を魅了しています。このたびは、原版や素描の調査から初めて明らかになってきた、作者が作品に施した細やかな工夫にも注目し、銅版画約130点、素描約80点、原版約10点により、その画業をご紹介します。



南桂子「マロニエと少女」銅版画 1975年  
群馬県立館林美術館蔵

抱きしめたい!

## 近代日本の木彫展

会期／平成23年8月10日(水)～9月19日(月・祝)

木は古くから慣れ親しまれてきた素材であり、地球環境への関心の高まりの中で、改めてその重要性が見直されています。

本展は、近年の彫刻研究の動向を踏まえながら、著名な作家たちによる名品で明治以降の木彫の歴史をたどります。仏像彫刻の伝統や日本古来の主題に向き合った作家たちが、何を求め、何を表現したのか。作家たちの技と心によって、木という素材がいかに生命を得たか。会場でごゆっくりご覧ください。

ぎゅっと抱きしめたくくなるような、美しく、りりしく、なつかしい木彫の人物像や動物たち。さらに、木を用いた現代の表現も加わって深い感動をよぶ展覧会です。



平柳中「五柳先生」(六朝の詩人、陶淵明の像) 1960年  
広島県立美術館蔵

## カレンダー

企画展示室	2011(平成23年)						2012(平成24年)					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●企画展示室	4/16 5/4 第17回高岡市民美術展		6/24 7/31 生誕100年 南桂子展		8/10 9/19 抱きしめたい! 近代日本の木彫展		9/30 10/23 高岡の作家たち ～ふるさとでつくること～		12/2 1/9 ジュニア☆アート☆ワールド 2011～2012		3/6 3/25 GEIBUN3 富山大学芸術文化学部 第3回卒業制作展(仮称)	
●常設展示室	3/25 金属の造形・漆のデザイン	6/24	7/1 南桂子 -スケッチブックの鳥・木・花		11/6 11/11 絵画の場所 ～絵はどこにある?～		3/11					

●ギャラリーー 貸展示スペースです。個展やグループ展等の開催にご利用いただけます。平成24年度のご利用について平成23年12月28日(水)までにお申し込みください。

## 高岡の作家たち

～ふるさとでつくること～

会期／平成23年9月30日(金)～10月23日(日)

地元在住の抽象画家の先駆者としてカラフルな版画制作を展開、富山県美術界を牽引した鶴谷登(1940～2007)。油彩の分厚く饒舌な絵肌に独自の境地を示し、国内外で発表を続けた古川通泰(1940～2009)。鑄金技法による抽象造形を追究、県内在住作家として初の日本芸術院賞を受賞した大角勲(1940～2010)。彼ら高岡出身の三作家をはじめ、惜しくも近年逝去した作家たちの業績を回顧し、地方で制作することの意味、ローカルティ(地方性)とクリエイティヴィティ(創造性)の関係を考えます。



大角勲「天地守道(氣)」 2003年  
高岡市美術館蔵

## 第41回 高岡市芸術祭 高岡市美術作家連盟展

会期／平成23年11月5日(土)～11月13日(日)

**【観覧無料】**

## ジュニア☆アート☆ワールド 2011～2012

会期／平成23年12月2日(金)～平成24年1月9日(月・祝)

子どもたちが主役の展覧会です。美術館で子どもたちが創作にはげむワークショップを開催し、また、収蔵作品を子どもたちにわかりやすく紹介、作品をつくる喜びとみる喜びを感じてもらえるよう、来場者とともに展覧会をつくりあげていきます。会期中は「高岡市小学校連合展覧会」、「拾美会展」を併催、市内の小・中学校・特別支援学校に通う児童・生徒の作品が展示されます。

**【観覧無料】**

## ものづくりでつなぐ高岡

ものづくり・デザイン科作品展／ワークショップ・アートイベント

会期／平成24年1月21日(土)～2月19日(日)

文化創造=クリエイティブ・マインドをキーに小中高生、大学、一般、専門家、シニアなど広範な市民へ参加を呼びかけ、アートイベント、ワークショップ、小企画展示を通じて、「ものづくりのまち高岡」を発信します。

## GEIBUN3

富山大学芸術学部第3回卒業制作展(仮称)

会期／平成24年3月6日(火)～3月25日(日)

富山大学芸術文化学部とのコラボレーションにより、「公立美術館での企画展」というかたちで開かれる卒業展の第3回です。学生のみなさんの力作・大作に合わせ、楽しいイベントも予定しています。

**【観覧無料】**